

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス なえぼん		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを大切に、家庭や学校とは異なる「第三の居場所」として、落ち着いて過ごせる環境づくりを行っています。職員同士で子供たちの様子を共有しながら、個々の状況に応じた柔軟な支援を心掛けています。	日々の支援記録や職員間のミーティングを通して、子供の小さな変化に気づけるよう情報共有を行っています。また、活動内容についても子供の興味や関心に合わせて工夫し、楽しく参加できる活動を取り入れていきます。	支援内容活動の振り替えりを毎日行い、より子供一人ひとりに合った支援が行えるよう支援方法の見直しや工夫を続けていきます。
2	個別支援計画をもとに、こども一人ひとりの特徴や発達段階に合わせた支援を行っています。無理に活動へ参加させるのではなく、子供の気持ちを尊重しながら、少しずつ増やして行けるように関わっていきます。	遊びや日常生活の中で社会性やコミュニケーション力を育てられるよう、集団活動と個別対応をバランスよく取り入れていきます。成功体験を積み重ねることで、子どもの自己肯定感を高めることを意識しています。	モニタリングを通して支援内容の見直しを行い、子供の成長に合わせた目標設定や支援方法之改善を行っていきます。
3	子どもたちが安全に過ごせるよう、日頃から安全管理や環境設備を行っています。また、職員間で役割分担を行いながら、子どもの様子を見守る体制を整えています。	事故防止や感染症対策などについて職員間で確認を行い、安全面に配慮した支援を行っています。また、緊急時の対応についても職員間で共有し、落ち着いて対応できるよう準備しています。	避難訓練や安全確認を行い、子供たちが安心して通える事業所づくりを継続していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所としての取り組みや活動内容について、外部に向けた情報発信がまだ十分とは言えない状況です。	日々の支援を優先する中で、活動の様子や取り組みを発信する機会が少なくなってきたためです。	ホームページやお便りなどを活用し、活動内容や事業所の取り組みについてわかりやすく発信していくことを検討しています。
2	地域との関わりや交流の機会がまだ限られており、地域資源を十分に活用できていない部分があります。	地域施設との連携や外出活動が限られているため、交流の場が少ない状態となっています。	地域の公共施設や公園などを活用した活動を取り入れ、子どもたちが地域社会と関わる機会を増やしていくことを検討します。
3	学校や関係機関との情報共有について、必要に応じた連携は行っていますが、より継続的な連帯体制を整えていくことが課題です。	連絡手段が保護者を通じたものが中心となることが多く、直接的な情報交換の機会が多くありません。	関係機関との会議や情報交換の機会を大切に、子どもにとってより良い支援に繋がるよう連携の強化を図って行きます。